

夏の福島大会に向け、練習に励む特設応援団のメンバー



会津北嶺高に特設応援団

あす開幕 高校野球福島大会に向け

心一つ、音色重ねる

放課後、吹奏楽部がない会津北嶺高(会津若松市)の校舎に軽快なサウンドが鳴り響く。吹奏楽経験者を中心とした特設応援団の練習だ。8日開幕の全国高校野球選手権福島大会のスタンドに立つ。メンバーの1、2年生の女子生徒7人が母校の活躍を願い、心一つに音色を重ねている。

特設応援団は2022(令和3)年の夏の大会を前に発足した。先輩の思いを引き継ぎ、横山美侑さん、深野真尋さん(ともに2年)が中心になって活動を続けてきた。中学校まで吹奏楽部に所属した生徒らが有志で集

た。メンバーの演奏パートも限られているが、手持ちのレパートリーは20曲ほどを数える。メンバーは「定番ではなく、オリジナリティで勝負する」と意気込んでいる。当日は野球部員らとともに「ダイナミック琉球」などでスタンドを盛り上げる。

同校は春の県大会で初勝利を挙げ、ベスト8に進出した。横山さんは「甲子園に出場してもらえるよう応援で後押ししたい」と意気込んでいる。